

木材統計調査 合板統計（令和4年7月分）

普通合板生産量は、前年同月に比べ4.4%減少
特殊合板生産量は、前年同月に比べ3.7%増加

【調査結果の概要】

- 1 普通合板生産量は26万4,815 m^3 となり、前年同月に比べ4.4%減少した。
- 2 普通合板出荷量は25万7,067 m^3 となり、前年同月に比べ8.3%減少した。
- 3 普通合板在庫量は15万4,826 m^3 となり、前年同月に比べ13.5%増加した。
- 4 特殊合板生産量は4万4,850 m^3 となり、前年同月に比べ3.7%増加した。
- 5 特殊合板出荷量は4万4,388 m^3 となり、前年同月に比べ4.5%増加した。
- 6 特殊合板在庫量は3万7,362 m^3 となり、前年同月に比べ3.9%減少した。

図1 普通合板の生産量・出荷量・在庫量の推移

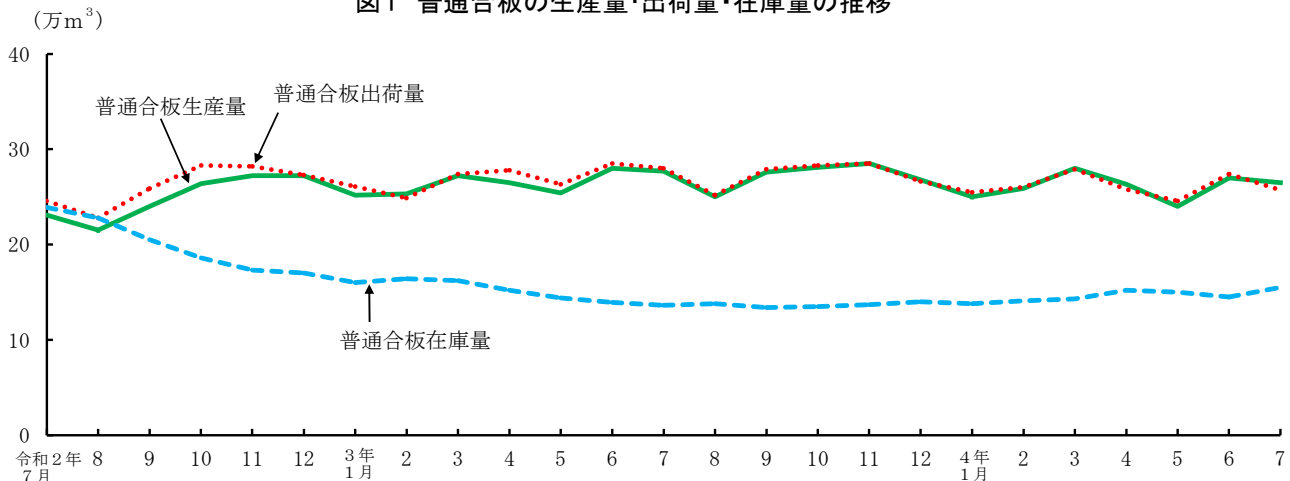
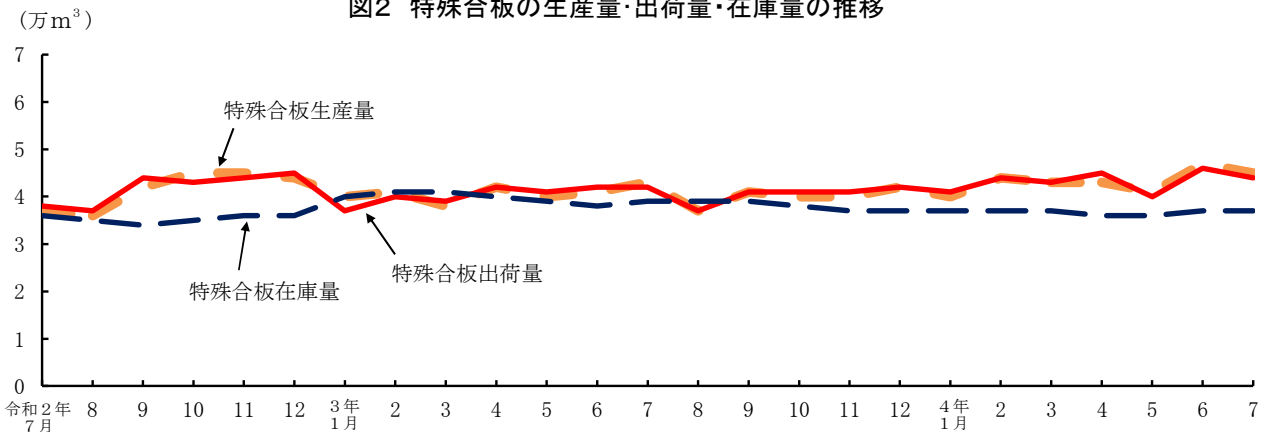


図2 特殊合板の生産量・出荷量・在庫量の推移



本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai/index.html#m2> 】

【統計表】

1 単板製造用素材の入荷量、消費量及び在庫量

2 普通合板の生産量、出荷量及び在庫量

月別	単位：m ³				単位：m ³				
	入荷量	国産材	消費量	在庫量	生産量	出荷量	在庫量		
							計	普通合板用	特殊合板用
令和3年 7月	433,400	382,475	449,446	405,122	277,068	280,333	136,354	82,683	53,671
8	371,317	345,128	395,070	381,369	250,359	251,960	138,153	82,088	56,065
9	459,019	398,214	450,577	389,811	276,030	279,068	133,824	79,788	54,036
10	456,351	422,110	453,442	392,720	281,324	283,077	134,793	79,177	55,616
11	490,023	440,377	460,943	421,800	285,299	285,096	136,523	80,581	55,942
12	411,235	403,808	425,573	407,462	267,836	265,872	139,739	83,349	56,390
4年 1月	435,576	393,316	407,039	435,999	250,071	254,782	138,365	82,676	55,689
2	505,176	462,696	412,598	528,577	258,993	259,722	141,310	83,087	58,223
3	542,112	496,258	468,747	601,942	279,758	279,205	142,835	85,053	57,782
4	551,116	499,728	451,953	701,105	263,272	257,565	152,272	91,915	60,357
5	486,123	430,158	411,693	775,535	240,447	246,379	149,651	85,603	64,048
6	525,044	469,325	477,256	823,323	270,335	273,713	144,503	85,059	59,444
7	476,796	424,375	465,520	834,599	264,815	257,067	154,826	92,171	62,655
対前月比 (%)	90.8	90.4	97.5	101.4	98.0	93.9	107.1	108.4	105.4
対前年同月比 (%)	110.0	111.0	103.6	206.0	95.6	91.7	113.5	111.5	116.7

- 注：1 「1 単板製造用素材の入荷量、消費量及び在庫量」における今月の在庫量と前月の在庫量の関係は、次式のとおりである。
 今月の在庫量＝前月の在庫量＋今月の入荷量－今月の消費量
- 2 「2 普通合板の生産量、出荷量及び在庫量」における今月の在庫量と前月の在庫量の関係は、次式のとおりである。
 統計表2の今月の在庫量＝統計表2の前月の在庫量＋統計表2の今月の生産量＋統計表7の今月の入荷量－統計表2の今月の出荷量－統計表7の今月の消費量
- 3 年度途中で調査対象工場の新設・休廃業があった場合、前月在庫量と今月在庫量の関係が一致しないことがある（以下統計表8においても同じ。）
- 4 調査対象工場に変動があった場合、在庫量は注1及び2の計算式により算出された在庫量とは一致しないことがある。

3 普通合板の厚さ別生産量

月別	単位：m ³				
	計	6mm未満	6～12	12～24	24mm以上
令和3年 7月	277,068	2,620	45,356	126,017	103,075
8	250,359	2,180	42,128	110,378	95,673
9	276,030	2,754	43,496	123,642	106,138
10	281,324	2,470	46,021	125,026	107,807
11	285,299	2,610	45,658	125,934	111,097
12	267,836	2,475	41,433	115,599	108,329
4年 1月	250,071	2,769	36,098	108,587	102,617
2	258,993	2,423	38,213	113,707	104,650
3	279,758	2,441	41,160	124,232	111,925
4	263,272	2,358	40,122	113,766	107,026
5	240,447	2,377	37,008	103,255	97,807
6	270,335	2,247	40,981	121,238	105,869
7	264,815	2,551	41,845	118,563	101,856
対前月比 (%)	98.0	113.5	102.1	97.8	96.2
対前年同月比 (%)	95.6	97.4	92.3	94.1	98.8

4 普通合板のうち針葉樹合板の厚さ別生産量、出荷量及び在庫量

単位：m³

月別	生産量					出荷量	在庫量
	計	6mm未満	6～12	12～24	24mm以上		
令和3年 7月	270,321	1,522	44,245	121,509	103,045	272,363	90,617
8	243,404	973	41,092	105,725	95,614	244,619	92,498
9	269,186	1,465	42,548	119,074	106,099	271,140	89,913
10	274,106	1,206	44,940	120,205	107,755	275,045	88,851
11	278,145	1,391	44,533	121,185	111,036	277,445	88,830
12	260,470	1,185	40,298	110,715	108,272	257,406	92,096
4年 1月	243,765	1,455	35,283	104,475	102,552	247,889	91,108
2	253,529	1,444	37,137	110,348	104,600	251,856	92,940
3	273,815	1,614	39,957	120,365	111,879	271,621	94,767
4	258,055	1,486	39,021	110,570	106,978	251,675	101,414
5	236,259	1,291	36,140	101,071	97,757	240,946	97,675
6	265,519	1,394	39,790	118,497	105,838	267,733	92,292
7	257,987	1,266	40,711	114,202	101,808	251,232	99,618
対前月比 (%)	97.2	90.8	102.3	96.4	96.2	93.8	107.9
対前年同月比 (%)	95.4	83.2	92.0	94.0	98.8	92.2	109.9

注：1 針葉樹合板は、全針葉樹合板であり複合針葉樹合板（針葉樹と広葉樹による合板）は含まない。

2 針葉樹合板の在庫量は、統計表7の入荷量及び消費量のうち針葉樹合板であるものの数値を含めて算出したものである。

5 普通合板のうち針葉樹合板（構造用合板）の厚さ別生産量、出荷量及び在庫量

単位：m³

月別	生産量					出荷量	在庫量
	計	6mm未満	6～12	12～24	24mm以上		
令和3年 7月	246,064	1,521	28,718	113,951	101,874	246,951	73,737
8	220,874	972	26,019	99,757	94,126	221,546	73,125
9	246,303	1,465	26,926	112,501	105,411	249,157	70,290
10	249,044	1,206	27,454	113,694	106,690	249,344	70,047
11	254,748	1,391	27,349	115,690	110,318	254,610	70,223
12	237,200	1,184	24,477	104,001	107,538	233,029	74,421
4年 1月	223,257	1,455	20,534	99,627	101,641	225,906	72,865
2	230,527	1,444	22,063	102,913	104,107	228,658	74,400
3	250,566	1,614	24,410	113,319	111,223	250,597	74,391
4	234,985	1,486	24,110	103,286	106,103	226,789	82,638
5	215,310	1,291	21,973	95,360	96,686	221,392	76,619
6	243,493	1,394	24,457	112,414	105,228	244,351	75,876
7	233,215	1,266	23,888	106,873	101,188	229,386	79,775
対前月比 (%)	95.8	90.8	97.7	95.1	96.2	93.9	105.1
対前年同月比 (%)	94.8	83.2	83.2	93.8	99.3	92.9	108.2

注：針葉樹合板（構造用合板）の在庫量は、統計表7の入荷量及び消費量のうち針葉樹合板（構造用合板）であるものの数値を含めて算出したものである。

6 普通合板の用途別生産量
(普通合板生産量の内数)

7 普通合板の入荷量
及び消費量(特殊
合板用)

8 特殊合板の生産量、出荷量
及び在庫量

月別	単位：m ³		単位：m ³			単位：m ³		
	コンクリート 型わく用合板	針葉樹	構造用合板	入荷量	消費量 (特殊合板用)	生産量	出荷量	在庫量
令和3年 7月	3,619	3,522	247,741	42,090	41,959	43,267	42,495	38,894
8	3,173	3,139	222,418	39,049	35,649	37,116	36,798	39,212
9	3,580	3,510	247,981	38,503	39,794	41,121	41,000	39,333
10	2,827	2,811	250,689	40,622	37,900	39,600	40,608	38,325
11	3,376	3,336	256,392	41,080	39,553	40,325	41,344	37,306
12	3,002	2,949	239,033	42,911	41,659	42,080	42,141	37,245
4年 1月	2,779	2,717	225,215	39,146	39,055	40,469	40,592	37,122
2	3,455	3,408	231,476	40,162	36,708	43,814	43,643	37,322
3	3,081	3,062	251,866	39,870	38,869	42,733	42,810	37,216
4	2,617	2,604	235,992	44,121	40,391	43,292	44,563	35,945
5	2,340	2,333	215,447	43,230	39,919	40,529	40,186	36,288
6	3,134	3,123	243,665	42,872	44,642	46,594	45,982	36,900
7	2,974	2,962	235,102	43,522	40,947	44,850	44,388	37,362
対前月比 (%)	94.9	94.8	96.5	101.5	91.7	96.3	96.5	101.3
対前年同月比 (%)	82.2	84.1	94.9	103.4	97.6	103.7	104.5	96.1

注：1 「8 特殊合板の生産量、出荷量及び在庫量」における今月の在庫量と前月の在庫量の関係は、次式のとおりである。
 今月の在庫量＝前月の在庫量＋今月の生産量－今月の出荷量

2 調査対象工場に変動があった場合、在庫量は注1の計算式により算出された在庫量とは一致しないことがある。

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 国産材の安定供給体制の構築に向けて、林野庁が開催している「国産材の安定供給体制の構築に向けた需給情報連絡協議会」において、木材需給動向の資料として素材の入荷量、消費量及び在庫量、製品の生産量、出荷量及び在庫量を利用
- ・ 国民経済計算における四半期別GDP速報（QE）の供給側推計の「林業」及び「木材・木製品」の推計に利用
- ・ 経済産業省が作成している「鋳工業生産指数」の算出に利用

◎ 関連データ

1 単板製造用素材の入荷量

2 普通合板の厚さ別生産量

年次	単位：千m ³			単位：千m ³				
	計	国産材	輸入材	計	6mm未満	6～12	12～24	24mm以上
令和2年	4,626	4,195	431	2,999	49	462	1,341	1,147
3	5,093	4,661	432	3,172	38	531	1,399	1,204
対前年比（%）	110.1	111.1	100.2	105.8	77.6	114.9	104.3	105.0

資料：令和3年木材統計、令和2年木材需給報告書（以下4まで同じ。）

注：統計数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下3まで同じ。）。

3 針葉樹合板の厚さ別生産量（普通合板の内数）

年次	単位：千m ³				
	計	6mm未満	6～12	12～24	24mm以上
令和2年	2,896	17	444	1,293	1,142
3	3,087	20	514	1,353	1,200
対前年比（%）	106.6	117.6	115.8	104.6	105.1

4 特殊合板の生産量

年次	単位：千m ³
	生産量
令和2年	488
3	558
対前年比（%）	114.3

木材統計調査では、素材生産及び木材製品の生産及び出荷等に関する実態を明らかにするため、合単板月別調査（月次調査）とは別に木材統計調査基礎調査（年次調査）を実施している。

年次調査では、合単板工場を工場類型により次のとおり区分した。

（ア）単板専門工場（単板のみを生産している工場）

（イ）普通合板工場（普通合板を生産している工場。なお、普通合板のほか単板又は特殊合板を生産している工場を含む。）

（ウ）特殊合板専門工場（特殊合板のみを生産している工場）

都道府県別及び工場類型ごとに、既存工場については、単板専門工場は調査年前年の単板製造用素材入荷量、普通合板工場は調査年前年の普通合板生産量、特殊合板専門工場は調査年前年の特殊合板生産量により、それぞれ次に示す規模階層に区分した。なお、既存工場数が3以下の都道府県においては、規模階層区分は行わず既存工場全てを第1階層として取り扱うこととした。

第1階層

既存工場を単板専門工場は単板製造用素材入荷量、普通合板工場は普通合板生産量、特殊合板専門工場は特殊合板生産量の最も多い工場から順に配列し、それぞれそれらの量とその都道府県のそれぞれの量の70%を上回るまでの工場とし、この階層は全数調査を行った。

第2階層

既存工場を単板専門工場は単板製造用素材入荷量、普通合板工場は普通合板生産量、特殊合板専門工場は特殊合板生産量の最も多い工場から順に配列し、それぞれそれらの量とその都道府県のそれぞれの量の90%を上回るまでの工場から第1階層に属する工場を除いた工場とし、この階層は標本調査を行った。

第3階層

既存工場のうち、第1階層及び第2階層に属する工場以外の工場とし、この階層は標本調査を行った。
新規調査階層

既存工場以外の調査対象工場（調査年に新規に操業を開始又は操業を再開した工場）とし、この階層は全数調査を行った。

なお、年次調査は、合単板工場から抽出した126工場（令和3年調査）に対し調査を実施したものであり、標本設計の違いにより合単板月別調査結果の年間合計値と年次調査結果は一致しない。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、木材統計調査の合単板月別調査として実施したものであり、素材生産並びに木材製品の生産及び出荷等に関する実態を明らかにし、木材の需給安定対策等の資料を整備することを目的としている。

2 調査対象

(1) 調査の対象

本調査は、全国の合単板工場を調査の対象とした。

(2) 調査対象の選定

標本の抽出は、都道府県別に単板専門工場にあっては調査年前年の単板製造用素材入荷量、普通合板工場にあっては調査年前年の普通合板生産量、特殊合板専門工場にあっては調査年前年の特殊合板生産量の多い方から順に並べ、既存工場階層としてそれぞれ入荷量又は生産量の85%を上回るまでの工場を調査対象とした。

また、新規に操業を開始し、又は操業を再開した工場は新規調査階層とし、工場の操業が開始された時点で当該月分の調査を行い、この階層については全ての工場を調査対象とした。

(3) 調査対象数

令和4年7月の調査対象工場数は、76（有効回答数71、有効回答率93.4%）である。

3 調査事項

素材の入荷量、消費量及び在庫量、合板の入荷量、生産量、出荷量、消費量及び在庫量

4 調査対象期間

令和4年7月の1か月間である。

5 調査方法

本調査は、農林水産省が委託した民間事業者が郵送、FAX、オンライン又は調査員により調査票を配布し、回収する自計調査の方法により行った。ただし、調査対象者が面接聞き取りによる調査を希望した場合は、調査員による面接調査により行った。

6 集計方法

(1) 都道府県値の推定は、次の推定式のとおり行った。

なお、推定式中の「 y_i 」及び「 Y 」については、単板製造用素材に関する項目の推定においては「単板製造用素材の入荷量」、普通合板に関する項目の推定においては「普通合板生産量」、特殊合板に関する推定においては「特殊合板生産量」を用いた。

(推定式)

$$X = \frac{\sum_{i=1}^n x_i}{\sum_{i=1}^n y_i} Y + P$$

X : x の合計の推定値

n : 標本工場数

x_i : i 番目標本工場の当該項目の値

y_i : i 番目標本工場の前年の単板製造用素材の入荷量（普通合板生産量又は特殊合板生産量）

Y : 既存工場階層の前年の単板製造用素材の入荷量（普通合板生産量又は特殊合板生産量）の合計

P : 新規調査階層の当該項目の合計値（調査値又は推定値）

(2) 全国値の推定は、都道府県の推定値を合計した。

7 実績精度

本調査は、一定規模以上の工場を対象とする調査であるため、実績精度の算定は行っていない。

8 用語の解説

- (1) 「単板」とは、合板及びLVLに用いるために、素材から、ロータリーレース、スライサー又はベニヤソーを使用して生産された木材の薄板をいう。
- (2) 「単板製造用素材」とは、単板生産に供される丸太及びそま角をいう。ただし、輸入材にあっては、半製品（大中角、盤及びその他の半製品）を含む。
- (3) 「合板」とは、単板を3枚以上を主としてその繊維方向を互いにほぼ直角にして、接着したものをいう。

- (4) 「普通合板」とは、表面に加工を施さない合板をいう。
- (5) 「針葉樹合板」とは、針葉樹材で生産された普通合板をいい、本調査では「全針葉樹合板」のみを調査対象とした。
- (6) 「コンクリート型わく用合板」とは、普通合板生産量のうち、コンクリート型わく用に使用される合板をいう。
- (7) 「構造用合板」とは、ツーバイフォー住宅などの建築物の耐力構造上必要な部位に使用される合板をいう。
- (8) 「特殊合板」とは、普通合板の表面に美観、強化を目的とする薄板の張り付け、オーバーレイ、プリント、塗装等の加工を施した合板をいう。
- (9) 「LVL」とは、単板を主としてその繊維方向を互いにほぼ平行にして積層接着したもの及び繊維方向が直交する単板を用いた場合にあっては、直交する単板の厚さの合計が製品の厚さの30%未満であり、かつ、当該単板の枚数の構成比が30%以下であるものをいう。「単板積層材」とも呼ばれる。

9 利用上の注意

- (1) 本調査は、標本調査であることから工場の新設・廃業等が毎月の推定値に即座に反映されない場合がある。
また、年度途中で調査対象工場の新設・廃業等があった場合、前月在庫量と今月在庫量の関係が一致しないことがある。
- (2) この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「合板統計」（農林水産省）による旨を記載してください。

10 その他

この資料の数値については、令和4年の年間の月別統計表に編集しホームページに掲載する（令和5年2月予定）。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「森林、林業」の「木材統計調査」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai/index.html#m2> 】

【関連リンク】

林野庁ホームページ

<https://www.rinya.maff.go.jp/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について
農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 畜産・木材統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3686
（直通）03-3502-5665
FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について
農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589
（直通）03-6744-2037
FAX： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)
<https://www.e-stat.go.jp/>

次回（令和4年8月分）の公表は令和4年9月26日午後3時の予定です。